

## 二酸化炭素削減部会

地球温暖化の主な原因である二酸化炭素の削減のための活動を続けています。

2月19日のかんきょう連続講演会（14時から市民交流センター）  
講演「楽しく省エネ、賢く省エネ」～家計にも地球にもやさしく～にご参加ください。

すぐにできる省エネから、少しのお金で効果の大きい省エネまで、わかりやすく具体的にお伝えします。光熱費が減る、温暖化防止にもなる、と一石何鳥にもなります。また講演会の中で、市民の方が実践している具体的な省エネの方法や成果「私はこうしてエコな生活に取り組んでいます」も発表します。

講師紹介：エナジーコンシャス 代表 山川文子氏

消費生活アドバイザー 2009年まで（財）省エネルギーセンターで家庭の省エネルギー普及事情に携わる。著書「暮らしの省エネ事典」他多数。



## JR逗子駅前交差点信号のアンケート調査

一昨年秋からJR逗子駅前交差点の交通信号が「歩車分離式」に変わりました。そこで、交差点利用の安全性・利便性等について、昨年の市民まわりの会場でアンケート調査を実施しました。青信号の点灯時間、赤信号での待ち時間、横断歩道を渡る時の安心・安全度、横断歩行時の車の接近・接触、乱歩行（スクランブル的横断歩行）の経験など。



アンケート調査の総括と今後の対策として

- ①「歩車分離式信号」になり大多数の利用者は安心して横断歩道を渡っている。
- ②赤信号の待ち時間はもう少し短縮して欲しいが、車利用者の立場を考慮すると「現状の赤信号待ち時間」は我慢できる範囲である。
- ③JR逗子駅に向う右折車が時に交差点に進出して危険である。
- ④交通信号が改善され感謝しているが、次に交差点周辺の違法駐車取締りを検討して欲しい。

この結果を逗子警察署交通課に報告しました。

<アンケートにご協力頂いた皆さんに感謝いたします>

### ◆地球にやさしい料理教室「エコ・クッキング」講座

～キッチンからはじめる、エコで楽しいライフスタイルを学ぶ！～

逗子小学校、小坪公民館、沼間公民館で社会教育課が主催する、地球にやさしい料理教室「エコ・クッキング」講座に当部会も参加しました。普段私たちが口にしている食べ物は、すべて自然からの大切な恵みです。こうした恵みへの感謝の気持ちとともに、地産地消、旬の素材の食べ物を選ぶ、エネルギーを大切に使う、水を汚さない、ごみを減らす...など、環境のことを考えながら「買い物」「料理」「片付け」など様々なエコの工夫について学び、実際に調理し、おいしく楽しく学びました。地球の環境を守る活動を、私たちの毎日の暮らしの中でできることから始めましょう！！ 次の機会には皆さん是非ご参加下さい。

<この講座は部会員の守安さん（東京ガス（株）勤務）が担当しました>



二酸化炭素削減部会は、毎月第2木曜日の10:00-12:00  
市役所内の5階会議室で例会を開いています。この活動に興味のある方はぜひご参加ください。

## ずしし かんきょうかいぎ ニュース

第24号 2011年2月

事務局 逗子市環境都市部環境管理課  
逗子市逗子5-2-16  
Tel 046-873-1111

発行 ずしし環境会議（エコリーダーズ会議）

## かんきょう連続講演会を開催します

### 第1回

「楽しく省エネ、賢く省エネ」  
～家計にも地球にもやさしく～

日時：2月19日（土）14:00～16:00

場所：市民交流センター第2・3会議室

講師：エナジーコンシャス代表

山川 文子 氏

### 第2回

「生ごみは宝だ！ゼロ・ウェイストへの  
挑戦 「生ごみで花いっぱい元気な  
町づくり」ー戸田市のごみリサイクル  
の取り組みから学ぶー

日時：2月26日（土）14:00～16:00

場所：市民交流センター第2・3会議室

講師：戸田市市民生活部環境クリーン室

クリーン推進担当副主幹

吉田 義枝 氏

### 第3回

「逗子葉山の今昔、海を中心とした逗子葉  
山の生物多様性」

日時：3月6日（日）14:00～16:00

場所：市民交流センター第2・3会議室

講師：葉山しおさい博物館館長

池田 等 氏

「かんきょう連続講演会」へ参加される方は、当日講演会場へ直接お越しください。（各回先着60名）

かんきょう連続講演会は連続参加の必要はありません。

講演会当日は、車での来場はご遠慮ください。

※車でなければ来場できない方や手話通訳を希望する方は各  
回開催日の5日前までに環境管理課へご相談ください。

問合せ：逗子市環境都市部環境管理課

TEL：046-873-1111（内線456、457）

FAX：046-873-4520

E-mail：kankyo@city.zushi.kanagawa.jp

参加者には、社会参加・市民活動ポイント「Zen」  
を交付します。

## ずしし環境会議（エコリーダーズ会議）を紹介します

### ■ずしし環境会議とは

逗子市環境基本計画及び行動等指針（ローカルアジェンダ21）にそって、平成13年3月31日にずしし環境会議（エコリーダーズ会議）が発足しました。市の支援のもとに、市民や事業者が主体となって環境の保全・創造に向け、様々な取り組み・活動を行っています。

### ■どんな活動をしているの？

ずしし環境会議は、「まちなみと緑の創造部会」「ごみ問題部会」「二酸化炭素削減部会」の3部会にわかれ、定例会（月1回）やイベント、調査などの活動を行っています。また、環境月間（6月）、市民まつりなどで活動報告などの展示を行っています。

### 主な活動

（まちなみと緑の創造部会）  
・田越川さかな観察会 など

（ごみ問題部会）  
・ごみの減量化資源化の啓発 など

（二酸化炭素削減部会）  
・市立小中学校への出前授業 など



### ■入会申込み・お問合せは、事務局まで

事務局

逗子市環境都市部環境管理課 Tel 046-873-1111 内線456、457

## まちなみと緑の創造部会

当部会では、「逗子の自然環境を次世代にどのように伝えるか」をテーマとして活動を続けています。

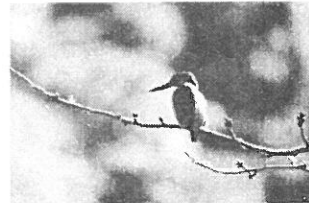
### 逗子の身近な自然の宝物を見つける ウォッチングのすすめ

**逗子のまちと自然：** 逗子は、三方の山と海に囲まれた田越川の流域を中心に広がる自然の豊かなまちです。桜山、披露山や、久木、池子の山々は、豊かな緑を育み、複雑な谷戸地形をかたちづくって、落ち着いた生活空間を創出しています。

そして、よく見るとたくさんの昆虫や野鳥、魚たちもこのまちで、私たちと一緒に、けなげに生きています。たくさんの生き物たちと共生できるまちは、健康的で魅力的です。みんな一緒に住めるまちの環境を大切にしましょう。まずは生き物たちをウォッチングして、自然の宝物に気づいてみましょう。

**生き物発見ウォッチング：** まちなみと緑の創造部会では、田越川のウォッチングやさかな観察会を開催して、たくさんの生き物の生息を確認し、子供たちにも生き物を見つける楽しみを知ってもらっています。

川の中や草むらをよく見ると、生き物の特徴や生活ぶりが興味深く見えてきます。みなさんも、次のご意見を参考に、日ごろの散歩やお子さんとの探検で、生き物ウォッチングを楽しんでみてはいかがでしょうか？



カワセミ 清水橋付近



ザリガニを捕るコサギ 逗子橋付近

#### その1： 田越川の生き物をウォッチングして、

**命輝く写真** を撮影している小林さんに聞いてみました。

**田越川の生き物観察：** 田越川には、綺麗な環境で無いと住めないカワセミやアユのほかカルガモやコサギなど沢山の生き物たちがいます。

この豊かな自然を多くの皆さんに知ってもらいたいと思い、写真集や写真パネルを作成して、小学校などいろいろな場所で展示しています。

皆さんも川沿いを歩いて、川面を覗いてみてください。きっと何か見つけられますよ。 (まちなみと緑の創造部会 小林宏一郎)

#### その2： 楽しい「ずし自然あそび場マップ」を作った現役のママさんに聞いてみました。

「逗子で、おたまじゃくしが見られるところやザリガニがいるところがありますか？」という、逗子へ引っ越してきたばかりのママさんの言葉から、このマップ作りは始まりました。山も海もある魅力的な環境の中、忙しさに素通りしてしまいがちな自然ともっと触れ合えたら楽しいですね。振り返ると子どもと出かけられる時期は短いものです。小さな子どもにとって、自然とふれあい遊ぶということは五感を成長させ、おおらかに育つ大切な経験です。そして、子育て中のお母さんたちにとっても貴重な体験です。実際遊んでいるママたちの経験や、逗子で自然保全・自然遊びについて活動している団体の知識や熱意?を結集して、このマップを作りました。協力していただいた団体・写真の小林さんにお礼申し上げます。マップを片手に、自然の中へ一歩踏み出してもらえたらなによりです。配布は、各団体でしています。

問合せ：逗子市育児サークル連絡協議会 zushi\_ikurenkyou@yahoo.co.jp

(逗子市育児サークル連絡協議会 事務局 村上朝鼓)

\*\*\* まちなみと緑の創造部会に参加して、一緒に自然のウォッチングを楽しみましょう。 \*\*\*

## ごみ問題部会

ごみ問題部会はごみの減量化・資源化をテーマに活動しています。

2月26日(土) のかんきょう連続講演会  
生ごみは宝だ！ゼロ・ウェイストへの挑戦  
「生ごみで花いっぱい元気な町づくり」  
— 戸田市のごみリサイクルの取り組みから学ぶ —

### (講師の紹介) 吉田義枝さん

埼玉県戸田市市民生活部環境クリーン室クリーン推進担当副主幹

「市民が生ごみを自ら運んで来るなどあり得ない」周りの職員の冷たい視線にめげず、花で戸田市民に魔法をかけました。ディズニーランドから花作りのプロをスカウトし、生ごみ堆肥使用の巨大なフラワーセンターを作り、また、税金を使わずエコバックやエコうちわ作りなど知的障がい者や高齢者にも新しく雇用の場を生み出しています。

会場中を笑わせながらも具体的に、何をどう考え、実際にどう動いたかを主婦目線で語ってくださいます。



### レジ袋削減に向けて

神奈川県の間年の使用枚数 21 億枚・CO<sub>2</sub>排出量 13 万 t 弱といわれている「レジ袋」。

その削減に向けた取組の実践に関する県の宣言に逗子市行政も逗子市商工会も参画しました。残る肝心の消費者が参画しないのではせっかくの宣言も絵に描いた餅にすぎません。

そこで昨年 6 月と 9 月の 2 回にわたって「レジ袋削減に向けたキックオフイベント」を行い、市内の消費者団体など各種団体に、この宣言への参画を呼びかけました。

その結果、次の 6 つの団体の参画を得ましたので、報告いたします。

逗子市消費生活研究会、逗子ゼロ・ウェイストの会、特定非営利活動法人 逗子の文化をつなぎ広め深める会、HUG、篠の会、ボーイスカウト逗子第 2 団

なお、個人・団体を問わず宣言への参画をお待ちしています。

報告 11/19 逗子市環境都市部行政課題研修「バイオマス資源の有効利用～生ごみリサイクルの意義と堆肥の作り方～」

明治大学客員教授、逗子市廃棄物減量等推進審議会委員で元神奈川県職員藤原俊六郎氏の講演会を聞きました。バイオマス、特に一般家庭から出る生ごみの話が多く、わたしたちが身近に出来ることを学びました。

堆肥は、微生物による変化で出来、自然にやさしいということです。堆肥にした場合、食品に含まれる塩分は 8% くらいまでなら問題ない。(普通の食生活の生ごみは問題ない) 油分も堆肥化過程で分解するなら、植物の発育に問題がないということでした。地面に直接置くキエーロ型は 1 日あたり 200g の生ごみを毎日出す場合、量 1 枚強の広さがないと環境に負荷がかかってしまうなど具体的にわかりやすい話でした。

わたしたちは、できることから始めて、環境にやさしくなければと再確認しました。

### クリーンセンター見学記

12 月 10 日、市民への呼びかけが功を奏したのか、5 名の市民を含め、11 名の見学会となりました。

今回は容器包装プラスチック(容プラ)及び植木剪定枝の処理施設を重点的に見学しました。従来「容プラ」をごみ袋から取り出すときは手作業で袋を破りとりだしていましたが、昨年より新しく導入された袋を破く機械で処理されており、ベルトコンベアーもスピードアップしたため作業の効率化が図られています。ただし、各家庭でのごみの分別が不完全なため、布類、金属等様々な異物が混入しており、その都度手作業で取り除いていました。作業効率の向上をはかるためにも家庭でのごみの分類をさらに徹底しなければなりません。市民の更なる協力が必要と感じました。



### ごみ減量知恵袋 Part7

### 植木剪定枝資源化事業

市では昨年 8 月末から、クリーンセンターで植木剪定枝のチップ化事業を始めました。今までは焼却炉で燃やされるだけだった植木の剪定枝が、大型のチップ機にかけられて細かく砕かれ、木質チップや堆肥の材料となって再利用されます。できたチップは現在、市庁舎正面玄関脇に設置された資源物回収所にて配布されています。家に持ち帰って堆肥づくりやマルチング(雑草抑制)、通路への散布などに活用してみたいかがでしょうか。また市では、簡便な家庭用小型チップパー(電動式・エンジン式)の貸し出しも受け付けています。庭から出た枝葉を、自分の手で細かくして土に戻してあげるのも乙なものです。庭が生き生きとよみがえること受け合いです。